

酒井俊 vocal
纈纈雅代 alto sax
清水絵理子 piano

2023 10月18日 (水)

開場 19:30
開演 20:00

(2ステージ入替無) (1drink=600~)
MC=3700+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



清水絵理子

東京品川生まれ。ヤマハジュニアコースから、マスタークラスへ進み、音楽の基礎を学ぶ。11才から欧米各国での演奏経験を積み、16才でマキシム・ショスタコーヴィチ指揮のもと新日フィル等と自作のピアノ協奏曲で共演。'92年、ジャズと衝撃的な出会いをして以来、ジャズ一筋。ダイナミックかつ繊細なプレイで、峰厚介4始め数多くのミュージシャンから信頼されるピアニスト。多数のレコーディングにも参加。自身のアルバムは、2010年故ts 井上淑彦氏をゲストに迎えたファーストアルバム「SORA」、2013年「Aftergrow」。b加藤真一氏とのDUOユニット「Double axes」2018年発売。2022年1月、Day of Delight から自己のピアノトリオでニューアルバム「ASPIRE」をリリース。

酒井俊

1976年、伝説のJAZZ CLUB「ミスティー」で歌い始める。翌年には初めてのアルバム「SHUN」がリリースされ、センセーショナルな反響を呼ぶ。リーダーアルバムを続けて計3枚、また手元にあるなしを含めた多くのレコーディングに参加、と同時に殆ど休まずに歌う約2年半を過ごしたが、突然渡米する。2年間のマンハッタンでの生活、そして帰国。約8年間の子育てを主にする家庭生活に入る。その後、日本語の歌を積極的に取り入れた方向で渋谷毅と再会、復帰する。様々な国の様々な唄を歌い続け、阪神淡路大震災の後に生まれた「満月の夕」と運命的な出会いを果たす。「満月の夕」を歌うにあたっての賛否両論の中、何年にも渡って毎夜歌い続け、2003年には「第45回日本レコード大賞企画賞」を受賞、2004年辺りからそれまでの活動を見直し、新たな音とうたの可能性を模索中。従来の音・うたのあり方から大幅に変化すべく、即興演奏・民族音楽の影響・トラディショナルへの傾倒を反映しつつ、セッションではない継続を、演奏家たちとの終わりのない共同作業へとその時間は積み重ねられており、09年には8年振りの2枚組「Night At The Circus vol.1」を、10年には「PLAYS STANDARD vol.1」「a few little things」を制作。ジャケットは、絵本作家荒井良二氏の描き下ろしイラスト24作品……という豪華盤を2枚同時発売する。そして12年には「螺旋階段な日常」をリリース、現在に至る。また、10、11、12年とベトナムにて歌うなど海外にても活動の幅は広がっている。

纈纈雅代

岐阜県出身。9月19日生まれ。1歳よりピアノを弾き始め3歳から音楽教室に通う。15歳でソプラノサクセス、16歳よりアルトサクセスをはじめる。高校在学中に名古屋音楽学校でクラシックサクセス、ピアノ、理論を学んだ後、Jazzに転向。2005年単身NEW YORKへ訪れたことがきっかけで音楽の道を志す。2008年9月10日、SONY MUSICより『鈴木勲 SOLITUDE Featuring 纈纈雅代』でデビュー。そのオリジナリティー溢れるプレイは唯一無二としようされる。2015年、KING RECORDより『鈴木勲、AVE MARIA』に参加。2019年、深圳 OCT JAZZ FESTIVALで鈴木勲 OMA SOUNDで参加。2015年8月8日、自身のオリジナル曲を集めた1st ALBUM『Band of Eden』を自身のレーベル SuiSui Record より発売。2019年12月、彩流社より自伝的著書「音の深みへ」が出版される。2020年、ドキュメンタリー映画「阿部薫がいたーDocumentary of Kaoru Abe」に出演。2020年文遊社より「阿部薫 2020 一僕の前に誰もいなかった」に寄稿。2021年カンパニー社より「五〇年後のアルバートアイラー」に寄稿。2022年5月、ニューヨークのフリージャズレーベル Relative Pitch Record より初のアルトサクセスソロアルバム「FUKIYA」がリリースされる。